

2022年12月23日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～株式会社 BMR のサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、株式会社 BMR（代表取締役 葛原 将季）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

1. 契約締結日 2022年12月9日（金）
2. 融資金額 100百万円
3. モニタリング期間 5年
4. 資金用途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

6. 株式会社 BMR の概要

代表者	葛原 将季
本社所在地	愛知県名古屋市中区栄二丁目 15 番 16 号コンフォート栄 2F
業種	飲食業
設立年月	2016年12月

<記念盾贈呈式の様子>



株式会社名古屋銀行
桜山支店長 佐久間 勝也

株式会社 BMR
代表取締役 葛原 将季 氏

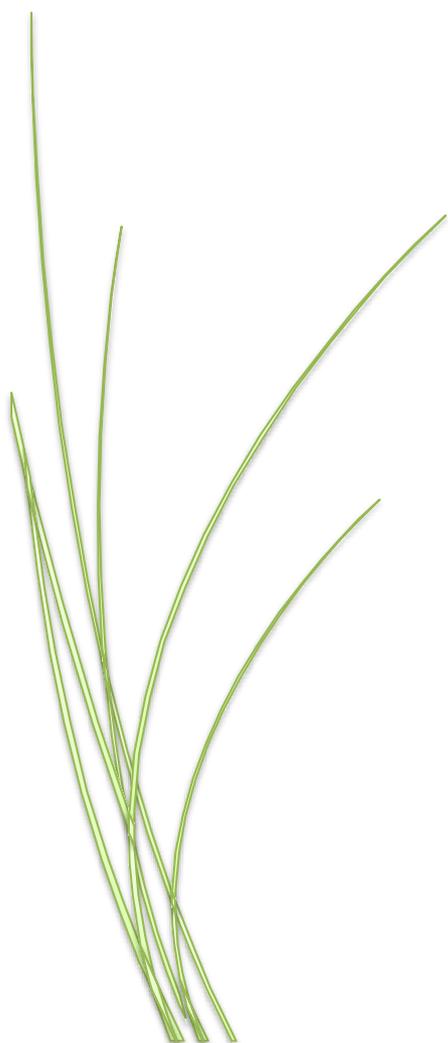
※写真撮影時のみマスクを外しております。

参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf

以上

ポジティブインパクトファイナンス評価書 ～株式会社BMR(Restaurant reminiscence)～



2022年12月23日
株式会社名古屋銀行
法人営業部 法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、株式会社BMRに対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎんPIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、株式会社BMRの企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	株式会社BMR
所在地	愛知県名古屋市中区栄二丁目 15-16
従業員	12 人
売上高	172 百万円
事業内容	飲食業

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	100,000,000 円
資金使途	設備資金
融資・モニタリング期間	融資期間 10 年、モニタリング 5 年

目次

1. 企業情報
①会社概要	
②企業理念	
③行動指針	
2. 事業内容
①提供サービス	
②店内装飾・備品	
③新店舗	
3. その他の活動
4. インパクトの特定
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
④海外のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI
①ポジティブインパクトの拡大	
②ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制
7. モニタリング方法
8. 総括

1. 企業情報

①会社概要

会社名	株式会社BMR
創業年	2016 年 12 月
資本金	3 百万円
代表者	葛原 将季
決算日	6 月 30 日
従業員数	12 人
本社所在地	愛知県名古屋市中区栄二丁目 15-16
事業内容	創作レストラン事業
店舗	愛知県名古屋市中区栄二丁目 15-16

②企業理念

当社は代表者である葛原氏が 2016 年に設立、創作レストラン「Restaurant reminiscence」を経営する飲食業である。

食材は地産地消を含めた様々な季節性の高い材料を仕入れ、高い技術力を駆使した独自の料理を、日常から離れた特別な空間で提供することで、多くの利用者を満足させるレストランとして高い知名度を誇っている。

顧客層は 30 代以上をターゲットとしており、生活にある程度のゆとりができる世代に対し、上質な時間と料理を提供し、結婚記念日や特別な記念日に利用するケースも多い。

・「Restaurant reminiscence」コンセプト

レミニセンスのテーマは『余韻、記憶』である。「生きること＝豊かな人生を送ること」と位置づけ心地よい「余韻」と心に残る温かい「記憶」の調和を提供することを重要視している。

この「余韻」と「記憶」が「Restaurant reminiscence」で過ごす時間で満たされることで来店客の中に素晴らしい人生の思い出という形で刻まれることを目標としており、目標実現の為により良いサービスの提供を日々研究し、実現している。



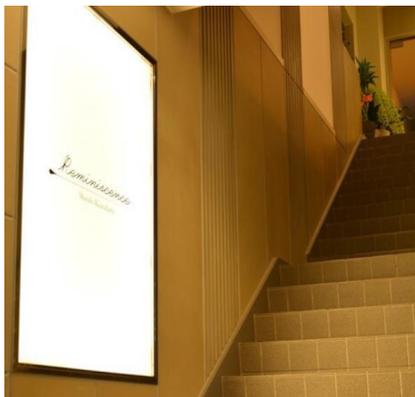
・立地コンセプト

コンフォート栄 2階

名古屋市中区栄2丁目 1513 番地 2階

地下鉄東山線 伏見駅から徒歩 10分、地下鉄名城線 矢場町駅から徒歩 10分

西隣に白川公園があり、伏見のオフィス街の空気感とは違い、都会にあるオアシスを連想させる空気感で来店客をもてなしている。



・店舗内コンセプト

ダイニング（ナチュラル）・・・白を基調とした、明るい印象の自然をイメージ。 個

室（モダン&シック）・・・現代風なレストランのような、シンプルさをイメージ

ウェイトィングルーム・・・ワインセラーをウェイトィングルームに設置することにより、ワイン
がお客様に見えるようにしている。

外装・・・白く、透明感のある外装にし、清潔感を出している。周りの建物、風景、自然と一体化
させつつ芸術性の面で個性を出している。



③行動指針

当社の行動指針は代表者の葛原社長のこれまでの経歴や信条を具現化して従業員全員に共有されている。常に初心で来店客に対応し、高い志を代表者と共にする為に、「Restaurant reminiscence」行動指針を従業員全員に配布し、内容について常に意識した行動を呼びかけている。

- ・「健全な身体」と「健全な精神」

「Restaurant reminiscence」を、名古屋を代表するレストランとし、日本の飲食業を牽引する存在とする為、精神的健康は健全な身体から生まれることを理解させ、体調管理の大切さを従業員一人一人に意識させている。

- ・コミュニケーション、ホスピタリティ

「Restaurant reminiscence」のホスピタリティについても一流レストランで経験を積んだ代表者の意識が大きく表われている。一流の料理人、サービスマンを育てる為の第一歩として、行動指針において、「挨拶」、「返事」、「御礼」、「言葉遣い」等、細かいカテゴリに分け、それぞれの意義や注意点、プロとしての心構えを説いている。

- ・食材について

値段ではなく本来の価値が価格を上回るものを高級品として位置づけ、値段の高低ではなく、食材の価値と向き合い、丁寧な仕事を心がけることを大前提としている。

また、生産者、仲介業者、物流にいたるまで、食材目線でどのように対処すべきか、考えるべきかをそれぞれのセクションの意義を説きながら徹底させている。

- ・サービスマンについて

コミュニケーション、ホスピタリティに加えて店内管理におけるマニュアルとしてセッティングや来店客からの意見、クレーム対応に至るまで細かく細分化され、実際の立場に遭遇した従業員自身がどのように対応すべきかを説明している。

- ・経営者としての仕事

従業員に対して、経営者自身の業務を伝え、経営者の業務や行動、その行動指針の根底にある当社の企業理念を従業員全体に浸透させることにも取り組んでいる。

上記のほかにも来店客目線や料理人目線といった様々な側面から理想の店舗像を共有し、経営者と従業員が1つのチームとして共通の目標に進む為の意識づくりが徹底されている。

葛原社長の考え、行動、料理、サービスがこの行動指針を繰り返し見直すことで定着しており、料理のクオリティは当然ながら、セッティングや接客等の隅々に至るまで高い評価を獲得している。

一般的な口コミサイト等だけでなく、ミシュランガイド2つ星の実績もそれを証明する一つである。

2. 事業内容

当社代表である葛原社長は、日本東西の有名フレンチレストランにて修行を積み、「Restaurant reminiscence」を名古屋市内に開店、2016年に株式会社BMRを設立した。

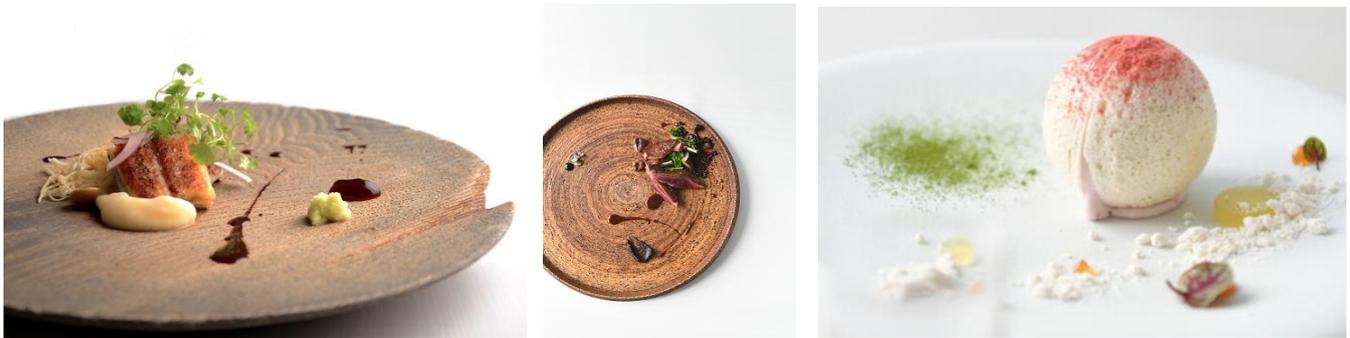
コンセプト等は前述のとおりであるが、細部にまでこだわりが徹底されており、名古屋において唯一無二のブランド力を展開している。

①提供サービス

ランチ・ディナーの完全予約制となっており、来店客には特別な空間を提供している。価格はコースメニューのみで 15,000 円から 20,000 円程度となっている。

その時々季節と食材から葛原社長自らが、自身で積んだ経験をもとにメニュー開発をし、メニュー構成を考えている。様々な食品を伝統的な技術を使った調理法から独創的な調理法まで駆使し、記憶に残る料理を提供している。

コースも連続性とストーリーを重視し、一つの作品として洗練された内容になっている。



②店舗装飾・備品

店舗内のチェアにも当社のコンセプトが行き渡っている。東海地方の文化・伝統を取入れたオリジナルのチェアは、地元の技術力やものづくりをテーマにしており地産地消によるサステナブルな店舗づくりに重点を置いている。

店舗内は過度な装飾をすることなく、削ぎ落されたシンプルさの中に白い空間を基調とすることで、料理、人、サービスのクオリティにより来店客の「記憶」に残る居場所を提供している。

当社の店舗においては、サステナブルな工夫や取組が多く導入されており、上記のチェアに加え、店舗内で使用されるおしぼりは、日本の伝統工芸である今治タオルを使用しており、今治タオルの中でも、IKEUCHI ORGANIC 社のおしぼりを使用している。

このおしぼりは、「赤ちゃんが口に含んでも安全なタオル」というコンセプトのもと、「最大限の安全と最小限の環境負荷」をテーマとして製造工程に徹底的にこだわった商品となっている。IKEUCHI ORGANIC 社はこのおしぼりの売上の一部をタンザニアの井戸設置費用に充てている。当社もこの取組の一部としてパートナーシップにより、サステナブルな店舗づくりと地域を超えた社会貢献活動の双方を推進している。



③新店舗

「Restaurant reminiscence」は名古屋市東区に2023年7月、新店舗の計画も進んでいる。前述のコンセプトを織り込んだ、サステナブルな空間により「余韻と記憶」を提供する計画である。

より多くの人に貴重な空間と時間を提供し、名古屋の飲食店の筆頭として誰一人取り残されない社会へ向けた独創的なレストランを展開する。

3. 持続可能な社会実現への取組

当社は、SDGs宣言を実施している。宣言内容は、「お客様へのサービス」「フードロス削減へ向けた取組」「パートナー企業との連携によるSDGs達成」「従業員に対する就業幸福度の向上」で構成されており、前述の社訓・経営理念と相関的に作用しており、従業員一人一人に意識された行動規範となっている。



SDGsの達成に向けた取組み

すべてのお客様に余韻と記憶を

設立以来、大事にしてきたコンセプト『余韻と記憶』をお客様へ提供すべく、食材のポテンシャルを最大限引き出し、素敵な時間を過ごしていただけるよう万全の準備を行ってまいります。

《具体的な取組み：レストラン『レミニセンス』の運営》



豊かな地球環境を未来へ

環境問題でもあるフードロス削減に寄与した取組みや地元食材を積極的に活かしたメニューの提供を通じて、地球環境保護に貢献してまいります。

《具体的な取組み：フードロス削減を目指した新たなメニューの開発・提供、店舗のLED化》



当社と関わるすべてのステークホルダーに幸せを

パートナー企業とともに、ガストロノミーに関する取組みを通じて、すべてのステークホルダーを幸せにできるよう努めてまいります。

《具体的な取組み：パートナー企業との交流会を実施、コラボレーション企画の立案・実施》



社員が輝くために

多様な人材の採用や人材育成を通じて、社員一人ひとりがやりがいを感じ、より一層輝ける職場づくりを目指してまいります。

《具体的な取組み：OJTによる人材育成の強化、人種・性別・年齢・身体障害・宗教・価値観・職歴に問わない人材採用》





SDGsとは

2015年9月、国連本部において「国連持続可能な開発サミット」が開催されました。

その成果文書として「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が加盟193ヶ国の全会一致で採択され、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」が掲げられました。

SDGsは17の目標と169のターゲットから成り、2030年までにこれらの目標を達成するために、企業の参画・貢献も期待されています。

4. インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデルにより株式会社BMRの主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。株式会社BMRの業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。株式会社BMRの事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については株式会社BMRが直接関与できないため次の事項を検討する。ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に株式会社BMRの事業が貢献できることがないか検討する。ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

「雇用」に関しては多くの事業においてポジティブ・ネガティブの両面の影響がある。全社的な人事戦略・雇用管理などの横断的な対応について別途検討する。

②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

インパクトカテゴリ	川上の事業				同社事業			
	【 中分類01 】		【 中分類10 】		【 5610 】		【 5629 】	
	作物・動物生産・狩猟業及び関連サービス		食料品製造業		レストラン及び移動式飲食業		その他の飲食業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）		★★						
食料	★★		★★		★		★	
住居								
健康・衛生	★★	★	★	★★	★		★	
教育								
雇用	★★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー								
移動手段								
情報								
文化・伝統			★		★★			
人格と人の安全保障		★★						
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）		★★		★				
大気								
土壌		★★						
生物多様性と生態系サービス		★★						
資源効率・安全性		★★		★				
気候		★★		★				
廃棄物		★★		★★		★		★
包括的で健全な経済	★		★					
経済収束	★							

川上、当社のインパクトは上記の通りである。「食料」、「健康・衛生」、「文化・伝統」、「経済」におけるポジティブと、環境におけるネガティブが散見される。

当社の事業において、川上の企業への能動的なアクションは当社の使用する食材やカトラリー、店内備品の選定による環境負荷軽減が可能である。食材や空間づくりにこだわり、質の高い食文化を形成するとともに健康面でもポジティブな影響をもたらす。また、地産地消に取り組むことで地域経済の活性化にも寄

与する。

全般として、ネガティブの縮小は環境配慮等による循環経済や廃棄物の減少を実施していく KPI を設定する。ポジティブインパクトの拡大に向け、独創的な料理と空間・体験の提供による食文化の発信、健康・幸福への貢献に資するKPIを設定する。

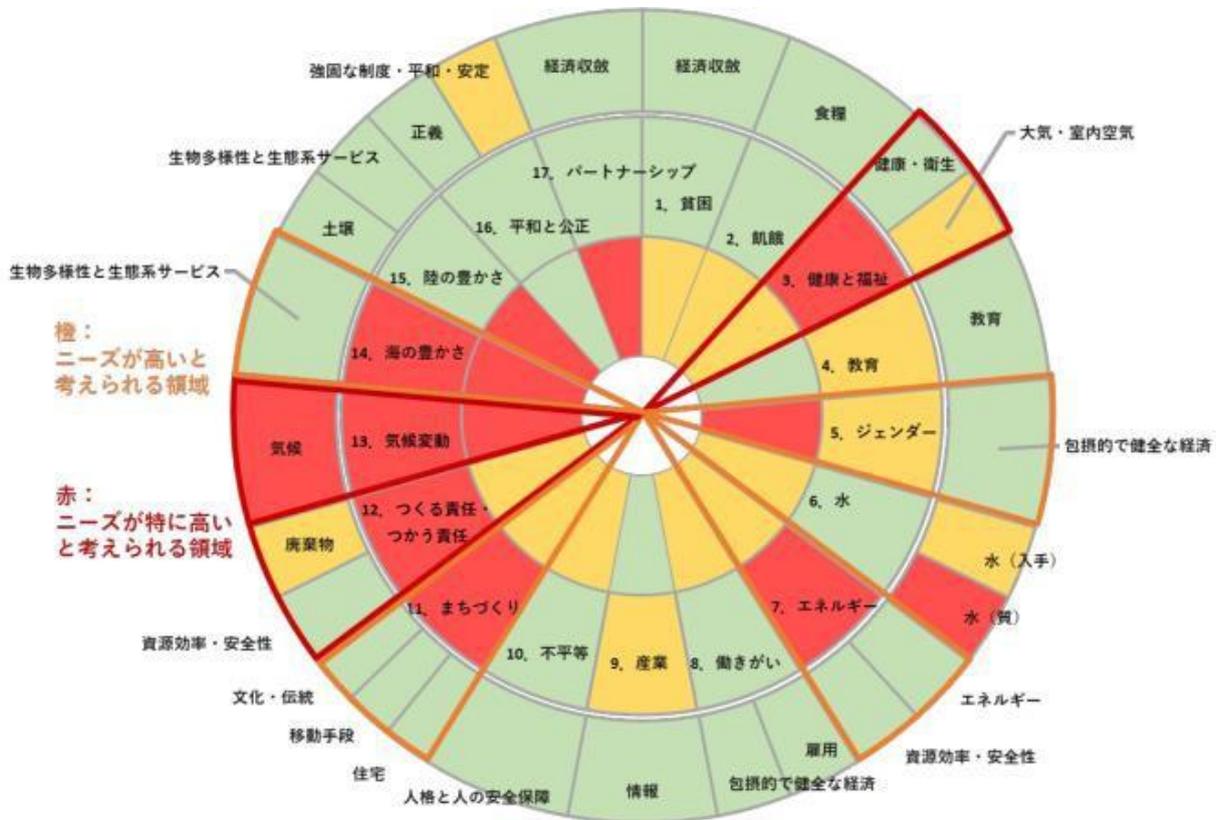
※対応するSDGsのゴール



③国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべきSDGsを赤色、取り組むべきであるが不十分なSDGsを黄色、その他を緑色としているものである。

名古屋銀行が特定した株式会社BMRのインパクトと対応するSDGsのゴール「3、6、11、12、13、14、15、17」に対して、全て赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



④海外のインパクトニーズ

株式会社BMRにおける、海外のインパクトニーズについてはフランス料理レストランであることを勘案し、ヨーロッパ主要国等の国々について整合性を分析する。下記に示したのは、上記国々のSDGsインデックス&ダッシュボード 2021 を参照したものである。緑で配色されたゴール以外は、色が薄い順に「課題がある」、「重要な課題がある」、「多大な課題がある」となっている。

特定したインパクトに対応するSDGsのゴールは、それぞれの国々においても重要度が高いことが確認出来る。

※各国のインパクトニーズ



5. 測定するKPI

①食文化の発信と地域経済の活性化

項目	内容
インパクトの種類	社会面・経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「食料」「健康・衛生」「文化・伝統」「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	   
対応方針	サービスの品質向上・地産地消の推進
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で生産された野菜、肉、魚介類を使用したメニューを継続的に導入する（取組開示） ・新規店舗において日本産木材を使用した家具の使用（取組開示）

②ダイバーシティに対応した店舗運営

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「雇用」
関連するSDGs	 
対応方針	顧客・従業員双方にとって快適な環境の整備
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・新店舗におけるバリアフリーに対応した設計（実績開示） ・翻訳機等の設置により国籍、言語にとらわれない食事空間の提供（実績開示） ・従業員に対しての経営方針の浸透や、若手への教育体制を確立する（取組開示）

③環境におけるネガティブ縮小環境負荷低減の取り組み

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「気候」「廃棄物」
関連するSDGs	  
対応方針	GHG排出削減・廃棄物削減に向けた取り組みの推進
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・新店舗における自家発電等により化石燃料による電力消費の削減を開始（取組開示） ・無農薬野菜の導入により土壌への負荷軽減（取組開示） ・環境に配慮した事業者、生産者と「協働」することによる新たな商品価値の創造（取組開示） ・自社の店舗内においてフードロス来店客に案内することで業者だけでなく、来店客も含んだパートナーシップを創立する（取組開示）

6. インパクトの管理体制

株式会社BMRは葛原社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策が葛原社長及び従業員が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、葛原社長が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 葛原 将季
-------	-------------

7. モニタリング方法

株式会社BMRに対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年 1 回以上の協議を通して実施する。年 1 回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

株式会社BMRの事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。株式会社BMRが KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。